

オーストラリア 留学レポート

内田優花 2021.8～



#Melbourne

ご挨拶



Flinders street stationにて
友達の弟さんを案内した時に

初めまして。森村103期卒業生の内田優花です。2021年8月に Trinity Collegeに入学し、現在メルボルン大学のBachelor of Artsで哲学・アジア学を専攻しています。私のレポートがオーストラリアや留学に興味を持っていただける機会になれば嬉しいです。

今回は初めてなのでこの3つの質問に自分なりに答えを書き出してみました。

-なぜ日本ではなく海外なのか

-なぜイギリスではなくアメリカでもなくオーストラリアなのか

-なぜシドニーではなくメルボルンなのか

1なぜ日本ではなく海外なのか →刺激&自分を活かせる



中高6年間美術部だったのですが大学に入って
チアリーディングに挑戦しました

「なぜ海外なの？」この質問には日本にとどまることがスタンダードだという意味が含まれているのではないのでしょうか。周りを見渡してもそれは事実です。私のほかに日本の大学を体験せず直接留学を決めた同級生はコロナ禍ということもあって誰もいませんでした。ですが他に同じことをしている人がいないからといって自分の好きなことは諦められません。もし自分が日本でやりたいことがあったらもちろん留まっていたでしょう。しかし刺激を必要とする私は新しい場所に移る必要がありました。外国で暮らせば家族から離れることになる、母国語以外を話して生活するようになる、今までと違う食べ物を口にするようになる。私にはこの全部が新鮮に思えました。しかも個人的に日本よりも外国の方が外交的な自分の良さが活かせると感じていたので留学しない理由はありませんでした。

2なぜイギリスではなくアメリカでもなく オーストラリアなのか →個人主義&多文化主義



St.Kilda beachにて
中国・台湾・マカオ・日本の友達と

次になぜ私はオーストラリアを選んだのかを説明します。留学に行くというと決まってこう聞かれます、「アメリカ？イギリス？」。オーストラリアは人気の目的地ではないようです。アメリカは最先端が集まっている。イギリスには伝統がある。オーストラリアには違う魅力があるだけです。住んでみて、個人的にはオーストラリアが本当の自由の国だと感じました。なぜならオーストラリアの人たちは他人と自分を比べないし、競争も、全くないわけではありませんが、人生で1番大事なことはないと知っているからです。私はこの気持ち良い程度の個人主義が好きです。なぜオーストラリアの人が比較をしないのかというと、比較しようとしてもできない状況に起因します。オーストラリアは移民の国なのでいろんな国・人種の人が入り、特にメルボルンは多様性が高いです。道を歩けば黒人、白人、アジア系の人たちが一緒にいるところが見られます。他人と自分が違うということが当たり前なんです。大学の中でも留学生のいない学部はありません。同じクラスにいても聞いてみるまで現地の人なのか留学生なのか分からない分、留学生は馴染みやすいと思います。このように人々を比べられないほどの多様性を持っているオーストラリアには多文化主義という魅力があります。

3なぜシドニーではなくメルボルンなのか →馴染みの地&大学



トリニティ・カレッジ卒業式にて
HOI(History of Ideas)の先生と

オーストラリアと聞くとシドニーのオペラハウスを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。そこでなぜ私はシドニーではなくメルボルンを選んだかという、その理由は大きく分けて2つあります。1つはメルボルンに馴染みがあったからです。私はメルボルンの郊外にあるメルトンというところの現地校に日本の高校在学中に1学期間交換留学生として通いました。大きくて澄み渡る空。フレンドリーな生徒たち。日本では習えないような内容の授業。日本に帰ってからもこの環境が恋しくなることが度々ありました。もう1つはメルボルン大学があったからです。最初はメルボルンにあるどこかの大学に行こうとしか考えていませんでしたがメル大の卒業生から話を聞いていくうちに面白そうだと思うようになりました。世界のランキングを見ても十分レベルが高いですし、自分の学部以外の授業も取れるシステムは色々学んでみたかった私の好奇心を揺さぶりました。さらに留学生がメル大の準備コース（ファウンデーション）として行くトリニティ・カレッジも良い評判が多く迷わずここに行くことを決めました。

終わりに



芝生最高です



←鴨もそう思っているはずです

約1年暮らしてみても私は自分の選択に満足しています。オーストラリアでは疲れることも多かったですが日本に一時帰国したときにホームシックのようなものを感じました。確実にメルボルンは私の「家」になってきています…！



勉強も一緒にする友達と 大学構内にて